

# ココロ

2019年1月発行

第55号

新年あけましておめでとう  
ございます。平素より皆様の  
当法人へのご理解・ご支援に  
深く感謝申し上げます。  
さて、平成28年に社会福祉  
法が改正され当法人では組織  
改革、職員の意識改革、利用  
者支援の質の向上に職員全員  
で取り組んでまいりました。  
平成から年号が改まる今年  
は、その成果の充実と持続、



社会福祉法人広済会の前身 善龍寺の正門



改善、長く受け継がれた広済  
会の理念・目的を汚すことな  
く具現化していくために、更  
なる経営基盤の安定を図るた  
め財務・業務改善、QC活動  
を通しての福祉サービスの質  
の向上、職員の処遇改善、そ  
して地域貢献に邁進してまい  
る所存であります。  
年頭にあたりまして、皆様  
の変わらぬご指導・ご鞭撻・  
ご支援をこれからもよろしく  
お願い申し上げます。

平成31年1月

理事長 石倉信男

## 第55号の内容

- ・ 社会福祉法人広済会理事長からの年頭あいさつ
- ・ イベント報告
- ・ 救急救命講習報告
- ・ 苦情解決委員会からのお知らせ
- ・ ココロヶ丘手をこなく友の会より
- ・ 編集後記

発行元：社会福祉法人 広済会 発行責任者：理事長 石倉信男

〒376-0123 群馬県桐生市新里町武井741

TEL：0277-74-1530 FAX：0277-74-5830



## イベント報告

### 秋のレクリエーション大会

当法人では利用者様にご満足いただけるよう、年間を通して多くのイベントを開催しております。その中で秋にはどういったイベントを行っているのかを紹介させていただきます。

まずは10月14日に行われた秋のレクリエーションです。このイベントは分かりやすく申し上げますと運動会のようなもので、日頃施設で過ごす利用者様に運動やアトラクションを通じて楽しんでいただくイベントとなっております。

昨年までは新里補助グラウンドにて開催しておりましたが、工事の為に今年はずつじ

ヶ丘学園の園庭での開催となりました。

当初は会場面積の狭さから「楽しめるのか」といった不安がありました。逆に狭さゆえの一体感が生まれ結果として好評でした。

競技内容は例年通りの玉入れから始まり、ストラックアウト・的入れ・フライングデイスクの3種目のレクリエーションを行いました。利用者様みんながとても楽しめた模様です。

最後は今年からの新種目である職員・利用者様一緒になって走るフラフープラリーでした。

文字通り一体感のある競技で大いに盛り上がり、その盛り上がりそのまま無事にイベントを終えることが出来ました。準備や片付けがとても大変ではありますが、それを補って余るほどの達成感と、利用者様への満足感を提供すること

とが出来たのではないのでしょうか。



青空の下での玉入れ

### 産業祭に参加

11月18日にはJAにつたみどり新里営農センターにて開催された産業祭に参加をしました。

こちらは毎年行われるイベントで、農産物の直売等桐生市内の様々な団体による物販にはじまり、お米のすくい取りやデイズニーペアチケット等の豪華賞品の当たる大抽選会、歌手を招いてのステージイベントが開催される等とて

も大盛況なイベントとなっております。

当法人ではクローバーのかぼちゃ饅頭・プリンの販売、つつじヶ丘光の園による手芸品や陶芸品の販売、総務部の育てた農産物の販売やコケ玉の販売を行いました。

特にクローバーによるかぼちゃ饅頭・プリンはリピーター様も多く、売れ行きも非常に好調でした。



コケ玉の販売風景

来年も多くのお客様のご期待にこたえられるような満足度の高い販売を行っていきたいと思います。

文…中島慶昌

## 利用者様を守る!!

### 救命法講習実施



平成30年9月9日に救命法講習が行われました。保護者の方もご参加いただき大勢の参加となりました。



実際の講義風景

講師には日本赤十字ボランティア指導員の林さん、服部さんの2名をお迎えし、異物除去や止血方法など、すぐに役立つ内容を沢山教えていただきました。

ボランティア指導員の方は普段は施設勤務しており、当

法人の現場でも起こりうるケースを沢山聞け、また異物除去方法では立てない人の場合など教科書にない現場での対応方法も教えてもらえ、非常に有意義な講習となりました。

私の感想ですが、万が一事故が起きてしまった場合、私たちがだけで解決するのではなく、救急車到着までや、病院に行くまでどう対応するかが重要だと実感しました。そう考えることで、まずやるべきことが明確になると思います。

もし事故が起きてしまった場合、しっかりと対応できるように復習することが重要ですが、今回の講習の内容が実際に使われることがないよう、細心の注意を払い日々の業務に当たりたいと思います。

文：渡邊祐晋

## 貴重なアドバイス

ありがとうございます

ございます！



### 苦情解決委員会より

当法人では苦情解決の取り組みとして3カ月に1度、第3木曜日に苦情解決委員会を開催しています。会議内容は各事業所から代表者が出席し、期間内に受け付けた苦情内容について検討しています。

今年度は3回開催されましたが、受け付けた事案は支援内容の説明不足や接遇など職員に関するものが挙げられました。苦情の申し出は、殆どがご家族様からの声です。私たちは、利用者様はもちろんのごとご家族の方が安心してご利用いただくためその事案を真摯に受け止めています。お話を伺った際は、なるべく早急に対応することを心がけ

ており、説明させていただくことで解決に至るケースが殆どです。

『苦情』というところでもマイナスイメージがありますが、要望ということで様々な角度からご意見も挙がっております。また、各事業所には、苦情受付箱というものを設置していますのでご利用いただけるのとありがたいです。

地域にお住いのお二人の方に『苦情解決第三者委員』をお願いしています。今後は、その方々の意見をお聞きする機会を設けていければと考えています。

文：橋本忍



ココジケ丘  
手をコなく友の会より

チャリティー落語会

開催しました！



12月9日(日)に、後援会主催のチャリティー落語会が、みどり市の「ながめ余興場」にて開催されました。

当日は、寒冷前線が南下し寒い日となってしまいました。が、300名様以上のご来場をいただきました。

開演に先立ち、主催者を代表して『つつじヶ丘手をつなぐ友の会』会長江原利夫様から、来場の皆様への御礼と、ながめ余興場の歴史にも触れられたご挨拶をいただきました。

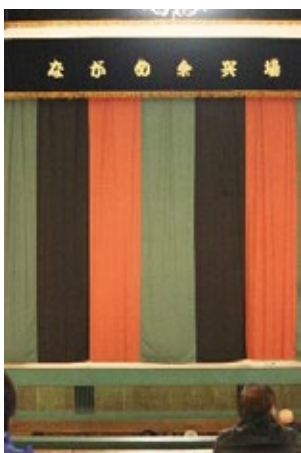
挨拶の後、落語会の収益が広済会石倉理事長へ手渡されました。

落語会は、4名の噺家さんにご出演いただき、師走の余

興場に笑い声があふれました。ご来場のお客様には、新里町障害者サービス事業所クローバーの手作りカボチャ饅頭を記念品としてお持ちいただくとともに、希望の方には、プリンと共に購入にご協力をお願いしました。

初めての企画開催でしたが、無事終了することができました。これは、ご来場の皆様、ご協力いただきました関係各位、そして、ながめ黒子の会様の多大なご協力のおかげと、心より御礼申し上げます。

文：武田英



ながめ余興場に

おしらせ

法人を支え  
発展させてくれる

職員募集中!!

社会福祉法人広済会では知的障害を持つ方の介護・支援スタッフを募集しています。年齢・資格を問いませんのでやる気のある方、障害をお持ちの方をサポートしてみたい方がいらっしゃいましたらご連絡お待ちしております。



連絡先

社会福祉法人広済会 事務局

Tel 0277-74-1530

採用担当：武田

編集後記

現在広済会では新鮮なことに取り組み、QCサークル・5S活動やホームページ及び本誌の構成などのリニューアルに取り組んでいます。

今まで積み重ねてきた事を活かし、同じことの繰り返しで立ち止まる事の無いよう、良い方向に変化し続けていければと思います。自身も負けじと昨日より今日、今日より明日と、少しでも成長し続けていきたいと思えます。

今号は平成最後の発行となります。新しい元号となっても引き続き機関紙「つつじ」をよろしくお願います。

